

第4次黒松内町総合計画
第5回 まちづくり推進委員会ワーキング会議
報告書

平成30年12月
黒松内町

目 次

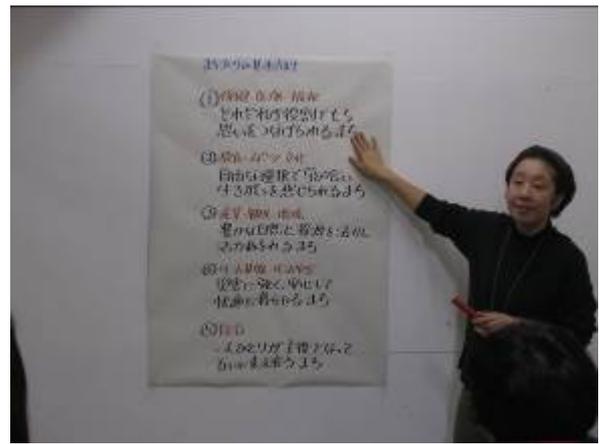
1. 当日のスケジュール.....	1
2. グループワークの結果.....	2
(1) まちづくりの基本方針案についての確認.....	2
①保健・医療・福祉	
②教育・スポーツ・文化	
③産業・観光・環境	
④生活基盤・生活安全	
⑤自治	
⑥その他全体	
3. 今後の内容.....	4

1. 当日のスケジュール

- 18:30～ 開会、挨拶
- 18:35～ 全体スケジュールと今回のプログラム説明
- 18:40～ 前回の振り返り
- 18:45～ まちづくりの基本方針案の確認
- 20:55～ 次回の内容説明、日程調整



基本方針等の位置づけの確認



まちづくりの基本方針案の説明



グループに分かれた意見交換とその結果を踏まえたまちづくりの基本方針案に対する意見出し

2. グループワークの結果

(1) まちづくりの基本方針案の確認

第4回に話し合われた結果を踏まえ、事務局から下記のまちづくりの基本方針案が提案されました。これらの案について、参加者同士でグループを作って意見を出し合い、その後全体で共有しながら、さらに意見を深めました。

①保健・医療・福祉

案：それぞれが役割をもち 思いをつなげられるまち
「それぞれが役割をもち」→どこでも当てはまる。この分野なら役割も決まってくる。
「役割をもち」→「役割をもてる」
高齢者でも障がい者でも、みんなが主役になり、お互いに支え合う、というここに込められた意味を聞くと理解できる。
活躍できる場所を増やしたい、とか具体的にできないか
分かりやすいキーワード「健康」を入れるのはどうか

②教育・スポーツ・文化

案：自由な選択で学び合い 生きがいを感じられるまち
教育が入ると子どもが見えて、大人がかすむ。地域で支える、生きる人を育てる。
本物(プロ)と触れ合う！ 本物に触れさせたい。
教育するのは子どもだけじゃない。大人、親もふくめて教育。
どこでも通用するような、生きていけるような。黒松内だけで生きていける教育ではなく。

③産業・観光・環境

案：豊かな自然と資源を活かし 活力あふれるまち
分野の「環境」は生活環境ではなく、自然環境のこと。いっそ「自然」にしては？
今あるものを活かして、磨いていきましょう、目を向けましょう
「豊かな自然」「資源」とあると、ブナが想起される。ブナ以外も連想できるような、でも既にブナは空気のようにこのまちのアイデンティティになっている
「ないもの」の象徴的なものがこの分野。でも町内のアンケートを見ると黒松内は好き、という傾向。

④生活基盤・生活安全

案：災害に強く、安心して快適に暮らせるまち
「災害に強く」←イイネ
冬の生活のこと(除雪など)も入ると

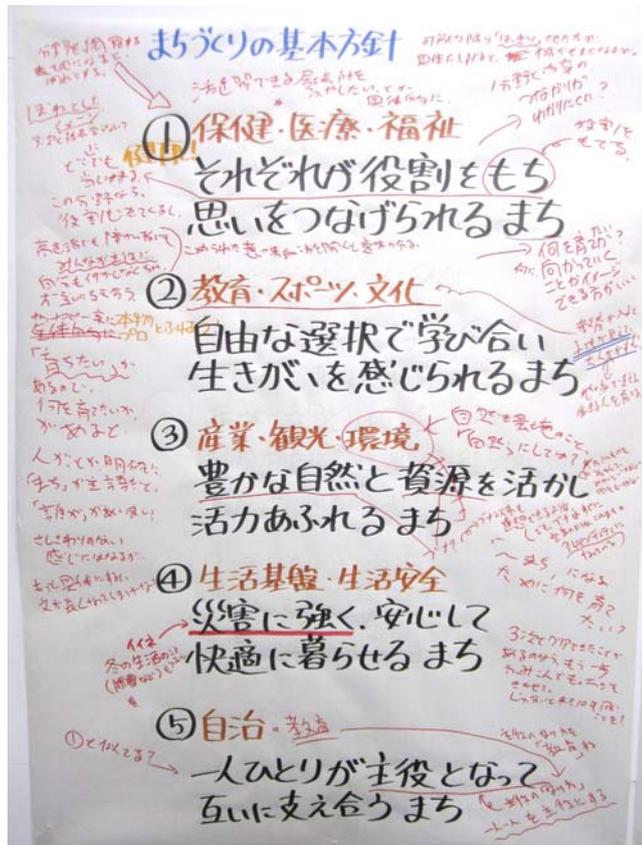
⑤自治

案：一人ひとりが主役となって 互いに支え合うまち
①と似てる？
「自治・教育」にして、主役のなり方を「教育」する
「主役となって」→一人ひとりを主役にする

⑥その他全体

①～⑤に共通すること
<p>○具体性・明確さ</p> <ul style="list-style-type: none"> 各基本目標には、複数の分野が設定されていて、全ての分野を網羅する表現にすると、ぼわっとしたものになる。 全体的にぼわっとしたイメージ。3次と結局変わらない。 可能な限り「はっきり」させた方が良い→でも、具体的にし過ぎると幅が狭くなる。 「まち」が主語だとあいまいなので、「人」とか明確に。 もっと具体的にすると、文が長くなってしまうかも。 具体的にイメージできる「単語」が文に入ると。①の分野だったら、「健康」とか。 3次でクリアできたことがあるのなら、もう一步踏み込んでエッジを効かせても良い。 分野と目標案のつながりが分かりにくい。
<p>○方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 何を育てたいか？ 何に向かっていくことがイメージできる方がいい。 キャッチコピー案に「育ちたい」があるので、何を育てたいかを示せると。 「～まち」になるために何を育てたいか？
<p>○まちの特色を活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> いまさらプナ？ もあるし、だからこそ大事にもしたい(言葉にするかどうかは別として) 「ない」ものではなく、「ある」ものを。あるものの価値は、内にいると分かりづらいものだが、あるものをもっと伸ばすようなものだったり、あるものを大切にするようなことがあると。
<p>○共通項を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> どこのまちにでも使えるものではなく「黒松内」が分かる共通項は？ 例えば、「幸せ」になるために、を共通項にすると、そのために①～⑤をどうするか？というプロセスが描ける。①なら、健康じゃないと幸せになれない、みたいな。
<p>○文章の作り方の案</p> <ul style="list-style-type: none"> いっそ文章ではなく、キーワードを並べる。

<ul style="list-style-type: none"> • 新聞の見出しのようにふわっとしつつも分かりやすく。 例)「健康日本ー!」「定住率 100%」「犯罪数 0 件」など • いらぬ言葉は削っていくとか、逆にもっと細分化するとか
<p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • なぜ黒松内に戻ってこないのかを考えてほしい
<p>○「あるもの」</p> <ul style="list-style-type: none"> • ご近所付き合い、支えあい • ブナだけでなく黒松内の資源として、若い施設職員や、朱太川 • 自分の代にできなかったことも、次の代でできていることもある <p>○「ないもの」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 塾、習い事の場合



3. 今後の内容

- 次回は 1 月 30 日開催で、一連のワークショップで話し合われた内容を整理し、成果報告会を行う予定です。